

参加無料・要申込み

第2回福井県白川文字学ゼミ 公開講座

白川文字学で読む『論語』



『論語』が文字として書かれたのは孔子の死後500年ほど経ってからだと言われています。孔子の時代の文字で、『論語』を書き直してみると、まだ存在しない文字が使われていることがわかります。『論語』のいくつかの章句を孔子の時代の文字に直し、それを白川文字学を参考にしながら読み解いていきましょう。

講師

能楽師、京都市立芸術大学客員教授

安田 登 氏

日時 平成29年8月3日(木) 14:30～16:00 受付14:00～

場所 福井県生活学習館 ☎ 0776-41-4200
福井県福井市下六条町14-1

※ 福井駅東口バス乗り場から無料のフレンドリーバスが出ています

《今後のお知らせ》

福井県白川文字学ゼミ公開講座

福井県では、『字統』『字訓』『字通』の字書三部作を著し、漢字文化の振興に寄与した白川静博士出身地として、白川文字学を活用した漢字教育を実践しています。福井の地から国語・漢字教育の振興・発展を図りたいという白川博士の遺志を継承するとともに、白川博士の研究への理解を深めることを目的に、「白川文字学ゼミ公開講座」として白川文字学に通ずる研究者を講師にお招きしてゼミを開催します。

第2回は、能楽師の安田登氏をお迎えし、白川文字学を用いて『論語』を読んでいただきます。

第2回ゼミは、講座終了後、ゼミ会員による学習会を実施します。

今後開催予定の講演会

	場所	日時	テーマ	講師
第三回	福井県立図書館	11/10(金) 14:00～	字体の正しさと字形の望ましさー漢字を手書きする際に大切にすべきこととしてー	押木秀樹氏 (上越教育大学教授)
第四回	福井県国際交流会館	11/25(土) 14:00～	『人類』はファンタジー～白川静、文字と文学の世界～	辻原登氏 (神奈川県近代文学館館長)
第五回	福井県立図書館	1/18(金) 14:30～	漢詩のさまざまな音読法～興味をかきたてる声の出し方～	加藤徹氏 (明治大学教授)

第3、4回の講演会は、ゼミ会員による学習会はありません。

お申し込み先

- 電話 0776-20-0559
 - メール syoubun@pref.fukui.lg.jp
 - ①タイトルに「白川文字学公開ゼミ参加希望」とお書きください。 ②お名前 ③年齢 ④お電話番号 ⑤講座日 をお書きください。
 - FAX 0776-20-0672
- 下記の表にご記入の上、切り取らずにこのまま送信してください。

☆フレンドリーパス・公共交通機関の利用、およびアイドリングストップにご協力ください。

参加申込書

第2回福井県白川文字学ゼミ公開講座 「白川文字学で読む『論語』」

講師 安田登氏

ふりがな お名前	年齢	電話番号
		歳	— —